



橙の里

DAIDAI NO SATO

多賀小学校だより No.7

令和6年11月 1日

電話 68-2105

校訓「夢は大きく

はばたけ多賀っ子」

学校教育目標 「考えを伝え合おう みんなのためにやってみよう」

やってみよう

なんとかなる

ありがとう

ありのまま

ネット社会との賢いつき合い方とは

今年もいつまでも暑いですが、それでもこのところさわやかな風が吹き、子どもたちにとって活動が多岐にわたる実りの秋となってきました。よい気候の中で、十分な活躍がどの子どもでもできるよう支援してまいります。

先日の運動会、奉仕作業、また、授業参観・懇談会には、多数ご来校いただきありがとうございます。運動会の朝は、テントを張るために約50人の保護者の方に参加していただき、なんとか実施できました。感謝するばかりです。子どもの最後まで走りきる力強さ、勝敗に一喜一憂する笑顔、体いっぱい歌う応援歌に大人の方がどれだけ生きる活力と元気をもらえたか。子どもの成長は本当にまぶしいものです。子育てを楽しみましょう。

これから生きる子どもたちとネット社会は切り離せないでしょう。すでに日本の小学生のインターネット利用時間は1日平均3時間34分(2022年度)であり、その目的は趣味・娯楽が最も多く半分以上の時間を費やしていると報告されています。ICTは便利なものでもありますから、学びの道具にして賢いつき合い方を教える指導が必要です。また、自分の好む情報だけに囲まれ多様な意見から隔離されやすくなる「フィルターバブル現象」や、同じような意見が閉ざされた空間の中で反響して大きくなっていく「エコーチェンバー現象」と呼ばれる自分と違った意見と出会わない現象が起こりやすいのも心配です。子どもによっては、世の中の多くの人が自分に賛成と承認してくれることに快感を覚え、ネットの世界にのめりこんでしまうことがあるようです。大人である私たちもスマホで一度検索すると、それに関連した商品や記事のリストがAIによって選択され、送信されてくる経験をお持ちではないですか？

それは事実なのか、相手の本心なのかといった真実を見極め、気持ちを押し量るには、実体験を積み重ねたり、経験の幅を広げたりすることが必要です。自分と違う意見や考えも認めながら、失敗も経験して、人とのコミュニケーション力を高めていくことは、子どもの成長には欠かせません。

子どもの視野を広げ、新しいことに安心して挑戦できる環境を整えるのが、先を生きる私たち大人の役割だと考えます。一緒に子どもに語りかけていきましょう。

【校長 國原 尋美】

PTA奉仕作業へのご協力をありがとうございました

10月26日(土)、貴重なお休みの日にPTA会員(保護者18名 職員20名 児童15名程度)参加のもと、PTA奉仕作業が行われました。校舎内外をくまなく作業していただいたので、いつも時間をかけてとりかかれないところがきれいになって、校舎の中が明るくなりました。

『子どもたちにとって気持ちのよい環境にしたい』という熱い思いでやっただいてくださることを強く感じました。

作業分担や用具の割振り、前日までの準備・当日の片づけ等のとまりまとめを丁寧にやっただいてくださった担当学年の3年部の役員の皆様、ご参加くださった保護者の皆様に感謝を申し上げます。

